

異文化間コミュニケーション(その2)

2 units 2nd-year(2nd semester, intensive)

Hiroshi Sakata · ASSOCIATE PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER

Target) 本授業では、前期の集中講義を基に授業を展開するが、概要としては、
(1) 異文化間コミュニケーションに必要とされる技術(スキル)と態度を養う、
(2) 自己のあり方を振り返り、今後の自分について考える、(3) 外国語に対する認識と態度を再考する、という内容を中心に授業を展開していく予定である。

Outline) 目的を参照

Fundamental Lecture) “Cross-cultural Communications”(1.0)

Notice) 具体的な講義内容については、講義開始時に改めて提示する

Goal)

1. 文化的な「違い」に対する認識と態度について再考出来るようになる
2. 自己を振り返り、望ましい自分について具体的なイメージを形成できる
3. 具体的な理想のイメージに向かっていく為に必要なコミュニケーション能力を獲得する
4. 自分とは異なる人達と有効な人間関係を構築することが出来る

Schedule)

1. オリエンテーション
2. マインドマップを使って自分の価値観を探りましょう!
3. 価値観を達成する為のヒントとリソースを考えましょう!
4. コミュニケーションエクササイズ(1): 承認とフィードバック
5. コミュニケーションエクササイズ(2): 質問・詰問(1)
6. コミュニケーションエクササイズ(3): 質問・詰問(2)
7. コミュニケーションエクササイズ(4): 自己開示(1)
8. コミュニケーションエクササイズ(5): 自己開示(2)
9. コミュニケーションエクササイズ(6): 傾聴(1)
10. コミュニケーションエクササイズ(7): 傾聴(2)
11. コミュニケーションエクササイズ(8): リーダーシップとチームワーク(1)
12. コミュニケーションエクササイズ(9): リーダーシップとチームワーク(2)
13. 今年の誓いとミッション・ステートメント
14. 人間関係・異文化とコミュニケーション
15. 予備日

Evaluation Criteria) 評価は、基本的には出席・レポート・発表内容を基に行う。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook) なし

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219389>

Contact)

⇒ Sakata (国際センター 教員室 1, +81-88-656-7199, kobayasi@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (後期)月曜 12:00-12:50)

Note) 定員: 30名まで *30名以上の場合には、総合科学部生(欧米言語コース2・3年生、国際文化コース2・3年生)を優先し、残りに関しては抽選を行います。